

全国ホルスタイン改良協議会 第39回 通常総会

報告事項

平成29年度事業報告並びに収支決算報告について

協議事項

平成30年度事業計画案並びに収支予算案について

全国ホルスタイン改良協議会(岡嶋建一郎会長)は2月23日、家畜改良事業団会議室において第39回通常総会を開き、前年度事業報告収支決算報告、平成30年度事業計画案及び収支予算案について協議し、全て原案どおり可決承認された。

事業報告では、山形県でジャジング・スクールを開催し、一般参加者・ジャッジマン候補者・認定ジャッジマン並びに地元関係者を含め、総勢152名が参加したことが報告された。

本年度事業計画では、協議会最大の行事である第9回全日本ブラックアンドホワイトショウを2018セントラルジャパンホルスタインショウとの共催で、4月13～14日に静岡県「御殿場市馬術・スポーツセンター」で開催するため準備を進めていること、ジャジング・スクールを岡山県で開催する予定で、地域の特色としてジャージー種の見方や、今後の牛の改良についてのパネルディスカッションの開催などを模索していることが報告された。

認定ジャッジマン2名

全国ホルスタイン改良協議会の認定ジャッジマンは、松原秀雄氏(北海道)、木村連太郎氏(大分県酪農業協同組合)の2名を加え、現在56名となった。全国の共進会やB&Wでの活躍に期待したい。

第9回全日本B&Wショウ

このショウは全国40都道府県にわたる会員傘下の酪農家が飼養する代表牛を一堂に集め、その体型や資質の改良水準を比較・検討し、今後の改良指針に資するとともに酪農業の更なる発展と酪農家相互の親睦と交流を図ることを目的として概ね5年に1度開催している。今回は会場等の都合により、長い歴史とともに毎年開催しているセントラルジャパンホルスタインショウ(旧中部日本B&Wショウ)との共催により開催する運びとなり、全国35都道府県から約209頭の出品牛が集合する予定である。

4月13日(金)の1日目は10時30分開会宣言の後、未經産牛の部の審査、リードマン講習会、リードマンコンテスト、交歓パーティー、オークションと多彩な行事が行われ、2日目8時30分から経産牛の審査、昼にはグランドチャンピオンが決定される。全国のトップクラスの優秀雌牛が一堂に集まる醍醐味を堪能頂きたい。

酪農講演会

通常総会に合わせ(一社)家畜改良事業団の情報分析センターの橋口昌弘電算課長を講師に招き「牛群検定と新たなツール(ポケカウ等)」と題した酪農講演会が開催された。PCで利用する繁殖台帳Webシステムの使い方やグラフの見方、更にはスマートフォンで使うポケカウの紹介など、出席された酪農家にとって身近で、直ぐに使える講演内容であった。